



平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トラスト・テック

コード番号 2154 URL <http://www.trust-tech.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小川毅彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鈴木憲一

TEL 03-5777-7727

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第3四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	12,909	17.0	974	131.5	998	102.3	592	104.3
25年6月期第3四半期	11,036	△5.5	420	△3.8	493	7.1	290	9.5

(注) 包括利益 26年6月期第3四半期 592百万円 (107.4%) 25年6月期第3四半期 285百万円 (8.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第3四半期	62.30	61.87
25年6月期第3四半期	30.50	30.48

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	5,457		3,596			65.9
25年6月期	5,544		3,479			62.8

(参考) 自己資本 26年6月期第3四半期 3,596百万円 25年6月期 3,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	3,000.00	3,000.00
26年6月期	—	20.00	—		
26年6月期(予想)				30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年6月期第2四半期末配当金20円00銭の内訳: 普通配当金 10円00銭 記念配当金 10円00銭(東証第二部市場変更記念配当)

平成26年6月期期末配当金30円00銭の内訳: 普通配当金 20円00銭 記念配当金 10円00銭(東証第一部銘柄指定記念配当)

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	19.3	1,280	78.3	1,300	61.7	780	69.6	81.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年6月期3Q	9,516,000 株	25年6月期	9,516,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年6月期3Q	42 株	25年6月期	— 株
----------	------	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期3Q	9,515,967 株	25年6月期3Q	9,514,000 株
----------	-------------	----------	-------------

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年7月1日～平成26年3月31日）におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策の効果により、企業業績の改善や個人消費の持ち直しがみられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような環境下、当社グループは自動車や自動車部品などの輸送用機器関連企業および業績が好調で人材需要の増加が見込まれる企業に対する積極的な営業活動により、業容の拡大と利益率の向上に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は12,909百万円（前年同期比17.0%増）、営業利益は974百万円（前年同期比131.5%増）、経常利益は998百万円（前年同期比102.3%増）、四半期純利益は、592百万円（前年同期比104.3%増）となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりです。

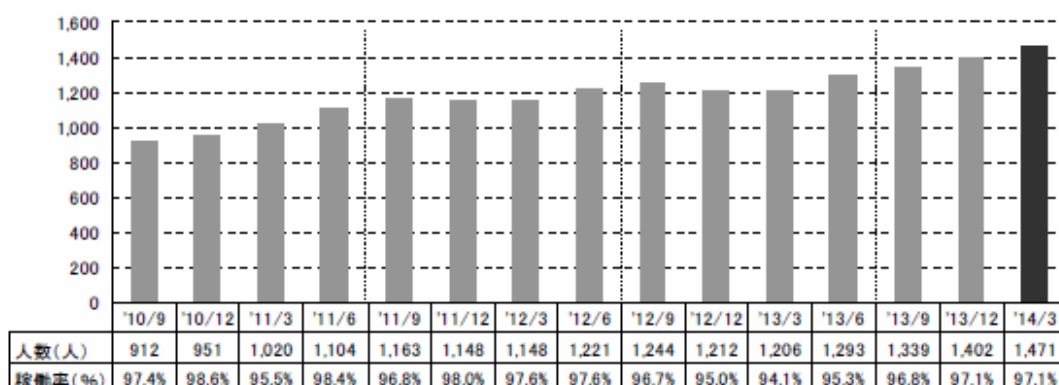
（技術者派遣・請負・委託事業：株式会社トラスト・テック、香港虎斯科技有限公司）

当セグメントは、研究開発、設計、生産技術などの技術分野に対する派遣・請負・委託の事業を領域としております。

当第3四半期連結累計期間においては、キャリア（経験者）採用の強化を重要テーマとして掲げ業績好調な輸送用機器関連企業に加え業績回復基調の半導体装置関連企業、航空機関連企業、プラント関連企業の人材需要に応えました。また、既存取引先に対する積極的な条件交渉も奏功いたしました。

平成26年3月末日時点の当セグメントに従事する社員数は、第2四半期連結会計期間末から69名増加、前期末からは通算で178名増加の1,471名（前年同期末比265名増）となりました。

この結果、売上高は6,961百万円（前年同期比19.7%増）、セグメント利益は775百万円（前年同期比81.7%増）となりました。



※ 人数：月末技術者数 稼働率：月末日における「就業先がある技術者数」÷「技術者数」

なお、人数には当該セグメント売上計上分に対応したコンサルタント業務委託先の技術者数を含んでおります。

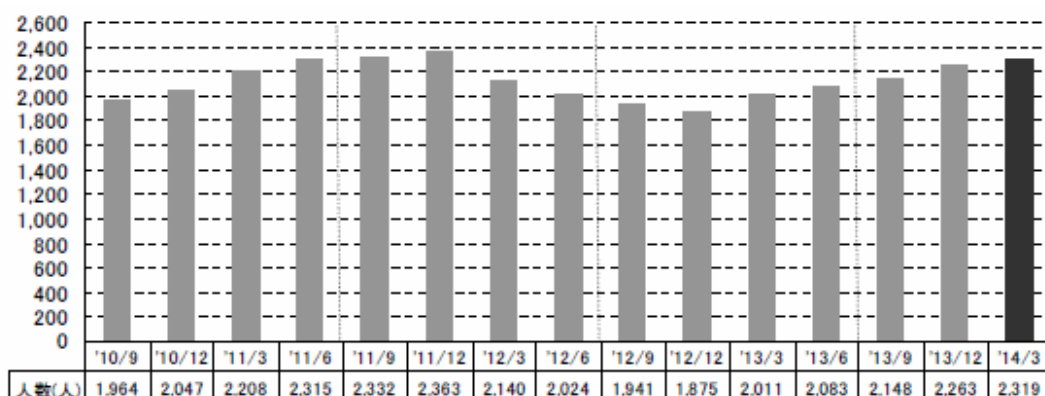
（製造請負・受託・派遣事業：株式会社T T M）

当セグメントは、顧客企業の製造工程等における請負・受託・派遣の事業を領域としております。

当第3四半期連結累計期間においては、輸送用機器関連企業、住宅関連企業、空調設備関連企業からの旺盛な人員需要に対し採用力の強化をはかり、これに応えました。また、請負業務においては、景気回復に伴う受注量の増加と顧客企業に対する条件交渉が実を結び利益率が向上いたしました。

平成26年3月末日時点の当セグメントに従事する社員数は、第2四半期連結会計期間末から56名増加、前期末からは通算で236名増加の2,319名（前年同期末比308名増）となりました。

この結果、売上高は5,901百万円（前年同期比14.1%増）、セグメント利益は205百万円（前年同期比335.6%増）となりました。



※ 人数:月末技能労働者数 当セグメントは有期雇用契約が多数を占めるため稼働率は実質100%です。

(障がい者雇用促進事業: 共生産業株式会社)

厚生労働大臣の許可を受けた当社グループの特例子会社である共生産業株式会社は、当社が神奈川県相模原市に保有する賃貸用不動産内のテナント事務所の清掃や地元企業からの軽作業などの業務を請負っております。

当該子会社は、障がい者と健常者が役割分担をしながら共に協力して働けるよう職場環境を整備して障がい者の雇用促進に努めております。

当第3四半期連結累計期間における売上高は22百万円(前年同期比1.1%減)、セグメント利益は5百万円(前年同期比28.4%減)となりました。

(不動産賃貸事業: 株式会社トラスト・テック)

神奈川県相模原市に保有する賃貸不動産の入居率は、従前どおり高い水準を維持いたしました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は41百万円(前年同期比0.2%減)、セグメント利益は12百万円(前年同期比2.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産

(資産)

流動資産の残高は、4,437百万円(前連結会計年度末は4,487百万円)となり、49百万円減少いたしました。主たる変動項目は、現金及び預金(前連結会計年度末比251百万円減)、受取手形及び売掛金(前連結会計年度末比219百万円増)であり、その他(繰延税金資産や未収消費税等)で17百万円減少しております。

固定資産の残高は、1,019百万円(前連結会計年度末は1,056百万円)となり、36百万円減少いたしました。主たる変動項目は、無形固定資産(前連結会計年度比35百万円減)です。

この結果、資産合計は5,457百万円(前連結会計年度末は5,544百万円)となり、86百万円減少いたしました。

(負債)

流動負債の残高は、1,821百万円(前連結会計年度末は2,019百万円)となり、198百万円減少いたしました。主たる変動項目は、未払費用(前連結会計年度末比343百万円減)、未払法人税等(前連結会計年度末比173百万円減)、未払消費税等(前連結会計年度末比68百万円増)、賞与引当金(前連結会計年度末比173百万円増)であり、その他(未払金や預り金等)で76百万円増加しております。

固定負債の残高は、39百万円(前連結会計年度末は44百万円)となり、4百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は1,861百万円(前連結会計年度末は2,064百万円)となり、203百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産は3,596百万円(前連結会計年度末は3,479百万円)となり、116百万円増加いたしました。

主たる変動項目は利益剰余金であり、これは四半期純利益(592百万円)による増加及び配当金(前期末配当金285百万円、当期中間配当金190百万円)による減少です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月7日付で開示しました「第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」以降の変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,175,813	1,924,643
受取手形及び売掛金	1,931,306	2,150,583
その他	380,268	362,346
流動資産合計	4,487,387	4,437,574
固定資産		
有形固定資産	192,051	184,917
無形固定資産		
その他	130,760	95,183
無形固定資産合計	130,760	95,183
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	590,960	585,937
その他	143,014	153,921
投資その他の資産合計	733,974	739,858
固定資産合計	1,056,786	1,019,959
資産合計	5,544,174	5,457,533
負債の部		
流動負債		
未払費用	1,327,719	983,905
未払法人税等	315,035	141,881
未払消費税等	119,450	188,247
賞与引当金	115,207	288,503
その他	142,201	219,038
流動負債合計	2,019,614	1,821,575
固定負債		
退職給付引当金	5,469	5,755
その他	39,299	34,035
固定負債合計	44,768	39,790
負債合計	2,064,383	1,861,366

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,476,890	1,476,890
資本剰余金	634,375	634,375
利益剰余金	1,373,176	1,490,219
自己株式	—	△32
株主資本合計	3,484,442	3,601,452
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,651	△5,285
その他の包括利益累計額合計	△4,651	△5,285
純資産合計	3,479,790	3,596,167
負債純資産合計	5,544,174	5,457,533

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
売上高	11,036,484	12,909,119
売上原価	8,641,446	9,758,723
売上総利益	2,395,038	3,150,395
販売費及び一般管理費	1,974,197	2,176,069
営業利益	420,841	974,326
営業外収益		
受取利息	269	363
助成金収入	65,710	21,366
その他	6,976	2,924
営業外収益合計	72,957	24,654
営業外費用		
支払利息	247	229
その他	12	90
営業外費用合計	259	319
経常利益	493,538	998,661
特別損失		
固定資産売却損	120	—
固定資産除却損	372	2,068
特別損失合計	493	2,068
税金等調整前四半期純利益	493,045	996,592
法人税、住民税及び事業税	237,414	355,886
法人税等調整額	△34,501	47,863
法人税等合計	202,913	403,750
少数株主損益調整前四半期純利益	290,132	592,842
四半期純利益	290,132	592,842

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	290,132	592,842
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4,565	△634
その他の包括利益合計	△4,565	△634
四半期包括利益	285,566	592,208
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	285,566	592,208

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	技術者派遣・請負・委託事業	製造請負・受託・派遣事業	障がい者雇用促進事業	不動産賃貸事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,815,882	5,173,996	6,883	39,721	11,036,484	—	11,036,484
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	16,283	1,432	17,715	△17,715	—
計	5,815,882	5,173,996	23,167	41,153	11,054,200	△17,715	11,036,484
セグメント利益	426,682	47,233	7,894	11,728	493,538	—	493,538

(注) 1 売上高の調整額は、セグメント間取引であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	技術者派遣・請負・委託事業	製造請負・受託・派遣事業	障がい者雇用促進事業	不動産賃貸事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,961,602	5,901,100	6,710	39,705	12,909,119	—	12,909,119
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	16,207	1,386	17,593	△17,593	—
計	6,961,602	5,901,100	22,917	41,091	12,926,712	△17,593	12,909,119
セグメント利益	775,245	205,723	5,648	12,043	998,661	—	998,661

(注) 1 売上高の調整額は、セグメント間取引であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。